



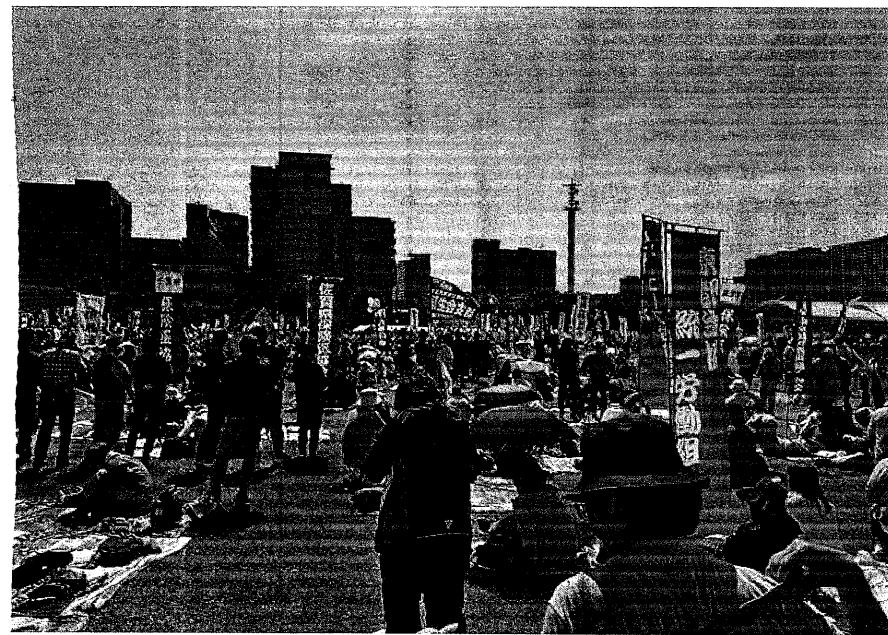
反帝国主義・反スターリン主義 万国の労働者と被抑圧民族は団結せよ

- 発行所 前進社関西支社
〒 532-0002
大阪市淀川区東三国6-23-16
(振替 00970-9-151298)
 - 発行人 佐藤一
 - 第1・3木曜日発行
 - 200円(本体182円)
 - 定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料 220円)
半年 2,400円(送料 1,320円)
1年 4,800円(送料 2,640円)

革命的共産主義者同盟再建協議会 <http://miraikakukyodo.jp/>



扇町公園で福島みずほさんら各政党代表も護憲と核廃絶を訴えた
(5月3日 大阪市)



5・3中央憲法集会は3万8000人が結集（東京）

軍事大国化・改憲阻止 生活破壊の石破政権打倒

憲法集会 各地で開催

（1000人委員会大のウクライナ侵略戦争、ガザでのイスラエルによる虐殺。ところが国際社会は止めることができない。日本が）は、「憲法がはたしてきました役割は大きい。日本は明治以降侵略戦争を繰り返してきた。1945年敗戦で終結。それから80年、平和憲法を世界に発していい。毎日新聞の記事で自民党の船田元は、少数与党であるが、再び2／3議席とれば必

世界は核軍拡にう。長崎では、せめてあと10年早ければもつて、世界は、中村桂子さん（長崎大学核兵器廃絶研究センター）が、「被爆80年、核のタブーの原点に立ち返る」として発言した。以下、要約する。

メインスピーチで、と多くの人と書ひを分かち合えたと悔しい思いもある。世界に動きが認められた。このタイミングは世界がいかに核の危険などころにいるかの裏返しでもある。核兵器への世界の

らの脅威を理由に核武装を正当化する、これがいう考え方が世界で強まって いる。核の総数は冷戦以降、減っているが、使える核兵器は増えて いる。今、世界は核軍拡に進んでいる。彼の頭の中は冷戦時とそ

武政子もいる。しかし、必ず「でも」「しかし」がついてくる。「でもしかし」の壁は、広島長崎にかぎった話ではない。世界や日本のリーダーにもある。核廃絶の理想がある。他方で、核抑止する。に守られている現実だ。

必
3回締約国會議に
して
「も
のは「でも、し
「の壁を破ろうとす
は約國の熱意・取り
だつた。

11年目に確認した。対話進め、核廃絶といふ信念は揺らいでない。苦しい、長い闘いだ。改めて被爆80年・戦後80年、私たちの力強い一步を共有し、ともに歩みたい。

倒上

憲法集会 各地で開催

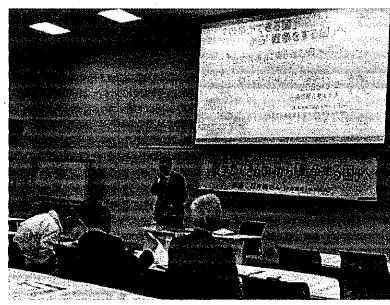
の車両はなにかが問題で、前段を根本から問題とする。直す動きがある。2017年核兵器禁止条約が採択。核を作るのも、持つことも、使うことも禁止。この核兵器禁止条約の運動で、「かつて私たちは自らを救うとともに、私たちの体験をとおして人間の危機を救うといふ決意を誓いあつたのであります」と被爆後

きる人を世界に1人でも多くつくっていくこと。その責任は大きい。核のタブーの崩壊は国レベルだけではない。多くの人の心の中でウクライナ戦争が発生以後、子どもや若者の間でも少し、受け止めが変わってきている。自分たちの安全への不安全感。ウクライナ

「核の傘」は幻想

法集会に3500人
で開催された。「目標
100000人」を公表
していく割にはやや残
念な結果だが、例年並
みで、齋藤県政問題を
憲法・人権の危機とし
て正面から課題化し積
極的に訴えれば、もつ
と多くの人が集まつた
のではと思えた(実際、
(二面へ続く)

兵庫憲法集会に3500人



議員会館内で集会（5月2日）

緊急シンポジウム

「台湾」有事に突き進む日米同盟

5月2日、衆議院第一議員会館で「緊急シンポジウム『戦争がでる国』から『戦争をする国』へ—『台湾』有事に突き進む日米同盟が開かれ、平日だが百を超える市民が集まつた。主催は一之瀬法律事務所を連絡先とする〈沖縄問題を考える会〉。

冒頭、主催者を代表して、村山首相談話の会・理事長の藤田高景さん（社民党元職員）があいさつ。「安倍政権の時、米側は『台湾有事では米軍ではなく自衛隊が皿を流す』と言っていた。これで騒ぎにならない日本はおかしい」。

元沖縄平和運動センター議長の山城博治さん

「台湾有事が問題に

なった時に〈ノーモア

えた。私が書いて配

する。これまでもいただ

き捨てになる部隊）。

日本企業が従事するこ

とに至った。防衛省幹

部は『戦争準備だ』と

説明している。米空軍

戦闘機は各基地をロ

ンポジウム『戦争がで

る。初の防衛大以外の

航空機の大規模補修に

日本企業が従事するこ

とに至った。防衛省幹

部は『戦争準備だ』と

朝鮮戦争下の清水港・山猫スト 『レッド』出版記念会の講演要旨

以下の文章は
庭伸介著『レッド
出版記念会（東京
2024・12・14・土
阪2025・2・23
における講演テープ』
おこしたものの要約で
ある。掲載に当たって
若干の訂正を加えた。

運動全般について、現場で働き、生き、生활している労働者民衆が、お互いの話し合いのなかから、闘い方を考え運動を“下”から創り上げていく、こそ最も大切なことである。

朝鮮戦争が勃
とき 労働運
かに対応した
1950年 日、朝鮮戦争が
た。このとき日
戦している。海
軍の掃海艇に乗
旧日本帝国海軍
たちは仁川や云
の朝鮮半島沿岸
雷の除去作業
り、戦死者が出
憲法9条のお陰
は戦後一貫して
してこなかった
うのは史実と異
朝鮮戦争が始
とき、日本の勞
いかに対応し

6月25日
発した
動はい
か
が勃発し
日本は参
海上保安
衆込んだ
軍の車人
元山など
庄で、機
に当た
ている。
艦で日本
戦争を
なる。
始まつた
労働者は
一般的の職場の
は、消極的な支
手当を増や
れ」という経済
掲げることぐら
できなかつた。
その一方で、
ナショナルセン
登場した。朝鮮
開戦直後に結成
総評（日本労働
評議会）である
の労働運動史の一
は、アメリカ占
日本の資本家階
護の下に総評が
たと書いてある
れは事実の一面
ないし、労働者
性を視ようどし
のである。

いしか
要求を
してく
和のことを「革命が達
できる」という方針
たいして、「マルクス
レーニン主義と縁も
かりもない帝国主義
化論である」と批判
された
新しい
ターが
戦争の
された
組合總
。普通
の本で
領軍と
級の庇
作られ
が、こ
かかわるな、そうす
ことは日本国内の階
の主体
ないも
ることになるから、
切タッチしてはいけ
い」という方針を掲
げた。プロレタリア国
援では

成に日本主導たために切れる限りストが大阪を切りに全国へ波及する、つまりオシャカ力を出す、そういう抵抗をやっている。

このとき全港湾労組大阪地本の委員長をしていたのが、平井重太郎という人である。平井さんは1925年、荒畠寒村にオルグされて再建途上の日本共産党に入ったオールド・ボルシェビキである。私は平井さんがお亡くなりになるまで親しくお付き合いさせていただいたが、非常に誠実な人柄であった。

平井さんは敗戦とともに全港湾労組の結成にたずさわり、中央本部の書記長を2期2年

はかうずもコトが起きた。1951年3月4日、大阪港で朝鮮向けの軍用米を運んでいた労働者が、使用を禁止されていた手力ギを使ったとして、監視中の米兵からカービン銃で滅多打ちされたのである。銃身を握つて銃床で顔や頭を滅多打ちされたのである。遠心力が働いてものすごい打撃力となり、血しぶきが飛んだ。そのとき甲板やハッチにいたすべての労働者が同様の目に会い、あたり一面

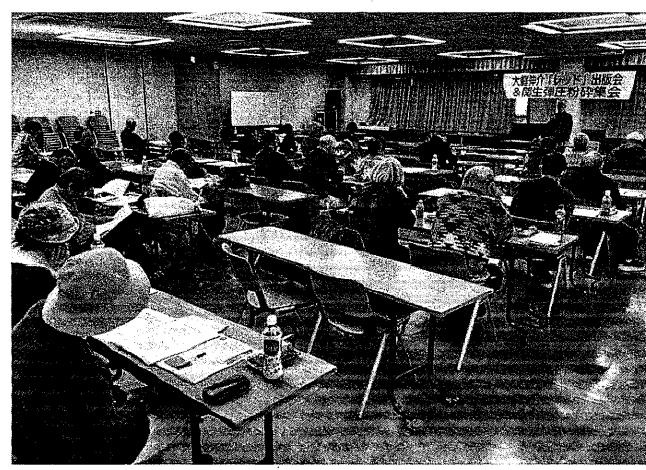
権臣地獲得のたぐら
みを粉碎する闘いである」と明記されている。
この闘争宣言は、全港湾
の全国各地本・支部、
大阪を中心とした関西
の各労働組合、当時「民
主団体」といっていた
市民運動の各グループ
にも配られた。

これは直ちに、隣の
神戸港に波及した。そ
して名古屋港、さらに
東京や横浜、関門、北
海道と、全国ほとんど
の港に無期限ストが広
がっていった。

しかし、清水港だけ
はスルーした。

ひ会社が「社独占」として
いた。鈴木与平という社長
は鈴木与平という社長
の「鈴」と「与」をつ
たもので、戦国時代の
大坂夏の陣のとき、徳
川家康の軍勢の武器・
弾薬・食料を運んだ歴
史を誇る港湾荷役業者
である。

同族会社で、男系の
後継者が途絶えたとき
の女社長も代々続いて
いた鈴木与平という通
名を名乗っていた。同
族会社の常で株を上場
していなかったために全国
区ではない。しかし静
岡県中部の物流を中心
にした第3次産業の超
大手企業である。最近



「2・26 関生判決」を前に大阪で出版記念会 (2月23日 大阪)

朝鮮戦争が勃発したとき、労働運動はいかに対応したか

1950年6月25日、朝鮮戦争が勃発した。このとき日本は参戦している。海上保安庁の掃海艇に乗込んだ旧日本帝國海軍の軍人たちは仁川や元山など朝鮮半島沿岸で、機雷の除去作業に当たり、戦死者が出ていている。憲法9条のお陰で日本は戦後一貫して戦争をしてこなかった、といふのは史実と異なる。

朝鮮戦争が始まったとき、日本の労働者はいかに対応したのか。いかに對応したのか。當時、日本の労働戦線は、底の状態にあつた。敗戦後しばらくの間、日本の労働運動をリードしてきた産別會議（全日本産業別労働會議）は、一方における権力の弾圧もあったが、それよりも共産党の引回しに影響されて組合員の要望に耳を貸さず、信頼を失っていく、凋落の一途をたどっていた。だから朝鮮戦争の開始に伴う労働強化にたいして、「特

その一方で、新しいナショナルセンターが登場した。朝鮮戦争の開戦直後に結成された総評（日本労働組合総評議会）である。普通の労働運動史の本では、アメリカ占領軍と日本の資本家階級の庇護の下に総評が作られたと書いてあるが、これは事実の一面でしかないし、労働者の主体性を視ようとするものである。

一般的の職場の労働者は、消極的な支援ではあつたが、産別會議より総評の方が少なくとも自分たちの声を聽いてくれるとして、総評に結集したわけである。

その総評は結成大会で「北朝鮮の軍事侵略反対、国連軍の警察行動支持」という方針を掲げた。そうしなければ結成大会を開くことができなかつたのだと思ふ。

労働者の政党と自任する共産党はどうで

和の時代に革命が達成できる」という方針を立てたいして、「マルクス主義と縁もかりもない帝国主義化論である」と批判された。

これをどう受け取るかをめぐって、日本共産党は大分裂した。機関を握っていた主流派は、朝鮮戦争にして、「朝鮮半島における内戦だから」一かかわるな、そうすることは日本国内の階級闘争をないがしろにすることになるから、一切タッチしてはいけない」という方針を掲げた。プロレタリア国际主義とは真逆の方針である。

一方の反主流派は、鮮戦反対の立場を打ち出した。しかし機関を握っていないの大衆運動をほとんど組織できなかつた。

パラシュートの上に針で穴をあけ、シャカを出して抵抗したなかで、運動のなかの意識な活動家はどうしたか。

成に日本主導で、全國的にいくつかの組織的労働抗争が勃興する。つまりオシャカ力をあらわす、つまり抵抗をやっている。藤一郎の『戦後労働運動史』(社会評論社刊)に、その具体例がいくつか紹介されている。かなり勇気を伴う行動ではあるが、個人的なレジスタンスの域を出ないものであった。

港湾労働者の無期限ストrikeが大阪を中心としてストライキをもって闘ったのが全港湾(全国港湾労働組合)であった。

港湾荷役は朝鮮戦争が始まると同時に、人チャクチャクな労働強化のつぼと化した。24時間労働、36時間労働が当たり前で、労働被害が激増し、なかでも労災死や生涯にわたる重大な労災が急増した。監視の米兵が少しでも気にくわないと業

このとき全港湾労組運が高まり、米兵の植民地化を暴にたいする不満がうつ積していく。大阪地本の委員長をしていたのが、平井重太郎という人である。平井さんは1925年、荒畠寒村にオルグされて再建途上の日本共産党に入ったオールド・ボルシェビキである。私は平井さんがお亡くなりになるまで親しくお付き合いさせていただいたが、非常に誠実な人柄であった。

平井さんは敗戦とともに全港湾労組の結成にたずさわり、中央本部の書記長を2期2年努めたあと大阪に戻り、大阪地方本部の委員長に就任した。1950年の年明け早々、コミニフォルムの批判より少し前に、日本共産党を脱党している。それは路線上の対立ではなく、平井さんから聞いた話によれば、「当時の大阪の共産党組織があまりにもデータラメでとてもこんな連中と付き合ってはおれなかつたから」だそうである。しかし共産党を脱けて

はかうずもコトが起きた。1951年3月4日、大阪港で朝鮮向の軍用米を運んでいた労働者が、使用を禁止されていた手枷を使ったとして、監視中の米兵からカービン銃で滅多打ちされたのである。銃身を握って銃床で顔や頭を滅多打ちされたのである。遠心力が働いてものすごい打撃力となり、血しぶきが飛んだ。そのとき甲板やハッチにいたすべての労働者が同様の目に会い、あたり一面が血の海と化す大惨事になつた。

権臣地獲得のたぐら
みを粉碎する闘いである」と明記されている。
この闘争宣言は全港湾
の全国の各地本・支部、
大阪を中心とした関西
の各労働組合、当時「民
主団体」といっていた
市民運動の各グループ
にも配られた。

これは直ちに、隣の
神戸港に波及した。そ
して名古屋港、さうに
東京や横浜、関門、北
海道と、全国ほとんど
の港に無期限ストが広
がっていった。

しかし、清水港だけ
はスルーした。

は鈴木与平という社長の「鈴」と「与」をついたもので、戦国時代の大坂夏の陣のとき、徳川家康の軍勢の武器・弾薬・食料を運んだ歴史を誇る港湾荷役業者である。

同族会社で、男系の後継者が途絶えたときの女社長も代々続いていた鈴木与平という通名を名乗っていた。同族会社の常で株を上場していなかったために全国区ではない。しかし静岡県中部の物流を中心とした第3次産業の超大手企業である。最近のデータを紹介すると、昨年の段階で資本金10億円、売上高159.8億円、営業利益54億円、従業員千人以上である。

幕末のころ清水次郎長には4人のパトロンがいたそうだが、そのうちの最大のものだつた。朝鮮戦争のころには次郎長一家は消滅していたが、新しい暴力団と組んで清水港を完全に支配下においていた。

あつたか。朝鮮戦争始まつた1950年1月、コミニンフオルというスターリン支下の国際的指導組織ら、日本共産党の「メリカの占領下でも」

たとえば、九州のアーモンド工場で米軍のパニシュートを作つていて、労働者が、カービン銃を肩にかけた米兵が、四六時中、職場を徘徊して監視しているなか

の 働者を蹴飛ばしたり、ふん殴ったり、海に突き落としたりする行為が日常的におこなわれるようになった。当然、港で働く労働者のなかに、朝鮮戦争反対の気

も筋金入りの共産主義者であることには変わりなかつた。朝鮮戦争が始まつたとき、大阪地本の委員長として、何かコトが起きたとき、それをキッカケにして

に入ることになったのである。

して、輸出入を営むような港では、少なくとも数社、10数社、ところによつては数10社の港湾荷役業者が存在するが、清水港は例外中の例外で「鈴与」とい

日本の軍拡と軍産学複合体(下)

栗原 瞳

武器輸出二原則撤廃と大学の軍事研究

(6) 兵器産業育成と武器輸出推進

① 2023年6月防衛省基盤強化法を制定。立憲・維新・国民も賛成した。武器工場の設備増強や武器輸出に税金を投入するという悪法である。背景に日本軍需企業の危機がある。コマツや島津はじめ、この20年で約100社が撤退した。市場が国内に限られ、利益率も低い。

同法は、製造工程を効率化したり、サイバーセキュリティを強化したり、サプライチェーンつまり部品供給のリスク対応などに充てる経費に税金を投入する。武器輸出の促進を狙い、一部の経費を税金でまかなう。性能を落として(ダウングレード)輸出する場合の経費を全額補助する。そのため、「防衛装備移転円滑化基金」を新設し23、24年度(16億円)やマレーシアへの警戒監視機材供与を内定したのはイン

度の艦船用アンテナを訪問しOSAに合意し、4月ベトナムで4百億円つけた。使い道のない予算を確保して、膨大な無駄である。軍需企業が事業継続困難になった場合、工場や設備を国有化することや、別の企業に委託する仕組みも盛り込まれている。また現在5つの分野(救難・輸送・警戒・監視・掃海)に限られている輸出項目を広げようとしている。

(7) 学術会議を解禁

② 2023年4月外務省が「同志国」軍に武器を無償でプレゼントする「政府安全保障能

力強化支援」(OSA)を創設した。外務省は、「対象を次期戦闘機に限る」輸出手先は日本

24年度より約30億円多い81億円を計上し、パートナー国を支援対象最大9カ国を支援対象とする予定だ。OSAによる供与は、24年に

25年度のOSA予算に

24年度の軍事費は、対前

年度比で26%増の

6兆8219億円。研究開発費(他分野も含め)は、3・1倍の

1兆6800億円、米

国からの武器購入費は4倍の1兆4千億円

超。

(8) 戦争のためには、科

学者の軍事研究が不

可欠である。石破政

治と連邦が崩壊して以

る。戦争する国造り、

武器産業育成、武器

輸出のためには、科

学者の軍事研究が不

可欠である。石

参院選兵庫 第二回立花の立候補許さない



兵庫県知事選最終日の斎藤派。全国動員でみなスマホをかざす。車上にはメルキュの折田も(24年11月16日 神戸市)

立花孝志の参院選
兵庫立候補を許さ
ない

斎藤兵庫県政打倒闘
争は、5月1日にN國
の立花孝志が7月参
議院選に兵庫選挙区か
ら立候補を表明し、今
く新たな情勢に入つ
た。

言はずもがな、立花
孝志こそは昨年11月兵
庫県知事選を2馬力選
挙で斎藤元彦を逆転勝
利させた張本人。その
後斎藤陣営や立花の選
挙違反が大問題とな
り、斎藤県政はいまだ

違法状態続く斎藤県政 再び斎藤救済狙う立花

濱・兵庫でのさらなる
民主主義と人権の蹂躪
を許してはならない。



会場あふれた真相究明集会（24年12月22日）

ラ つ
昨年11月兵庫県知事選は、立花の2馬力選挙なしに斎藤の勝利はなかつた。9月県議会での全会一致の不信任で斎藤元彦知事は失職し立候補するも、当初当選の可能性は絶望的であつた。これを救つたのは、斎藤自身の「お詫び行脚」(駅頭お辞儀)(=斎藤さんはかわいそう)と、立花らの百条委員会攻撃(改革派=斎藤追放のクーデタ、黒幕は奥谷、竹内・丸尾、西播磨県民局長は10年で10人と不倫など)の二人三脚

この強力な援助者と、明石の西村康稔元経産相をトップとする自民党反動分子・維新反動分子や、統一教会・宗教勢力、メルチューに指導された勢力が一體となってSNS世界を蹂躪し、最後は街頭への大量動員・スマホでの大量同時中継・拡

はなされた真相究明会場あふれた真相究明が、立花大笛などを熱烈な立憲民主党も選挙戦全体を開催題にはしなかった。この中で市民運動の内部から12月22日に「真相究明県民集会」が開催され、SNS勢力の協力もあり、急遽第三会場まで用意したが（定員500人）それをはるかに上回る1800人が結集した。

侵入のかどで逮捕されていた学生Aさん。月1日に起訴され、もう1人の学生は略起訴、事後逮捕のうえ市の方はまだ処分がまってない。

され
が5
た。
略式
人阪
か決
た。
起訴を弾劾し、1
早く釈放させる必
ある。

日も
要が
千葉県知事選を兵庫
各地でねこなった立井
は、3月2日尼崎で各
くの批判者に囲まれ
「ヤジで演説が聞こ
ない、選挙妨害」だ
110番電話したが
警察は取り合わず、土
前で「み
テイ
ネッ
ノシ
ノし
が参加した。
仕で
5月
再開
たの
兵庫
の
ベラル・左派+共産
補が立候補する6・1
尼崎市議選勝利から
ト

立花・斎藤らでなく
大学生らを逮捕・起
訴した県警・地検

尽くし、「自殺したらあかんので、今日はこれくらいでやめたる」という言動の映像が残っているのに、いまだ立花を逮捕していいない。Aさんの不当逮捕。

「著作を持つ選挙ウオーリー・チャーチだい（石渡大）さんの講演会においても、会場への激しい妨害活動がおこなわれた。



立花追及で起ち上がる市民（25年3月1日 西宮市）